

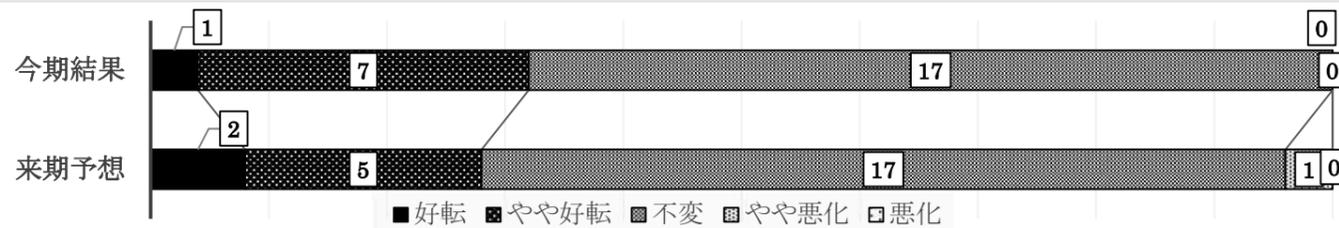
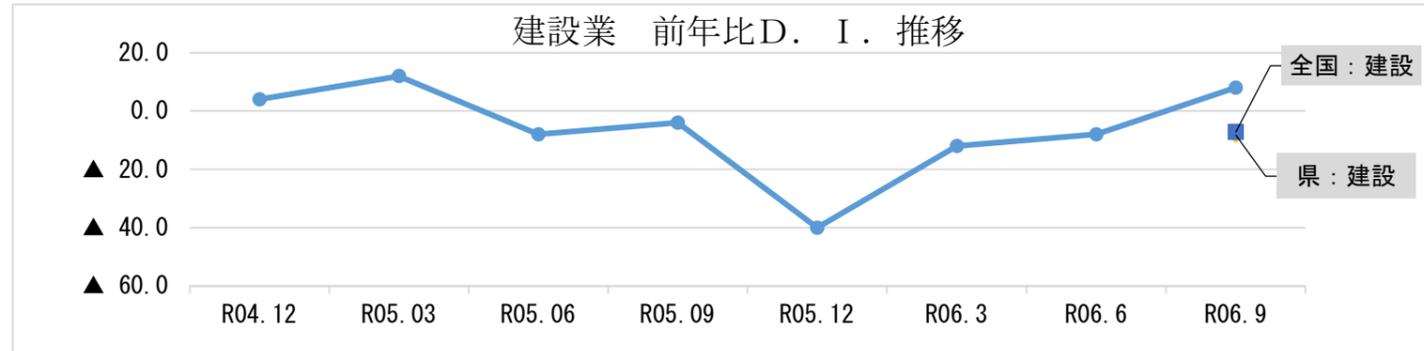
建設業

回答率：100% (25/25)



■丹波市の景況推移

公共工事は少ないが、住宅リフォーム等、民間工事の受注は増加傾向にある。資材・経費の高騰が続いており利益確保が厳しい状況が続くと想定される。現場での労働力不足は続いており、職人不足は継続課題である。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

公共工事の発注が非常に少なく、兵庫県からの発注が大幅に減少している。住宅リフォームの受注が増加傾向にあり、それに伴い、建築板金、設備工事と受注増加の傾向にある。受注が増えても現場での労働力不足は続いている。

【丹波市の来期の景況予想】

民間工事は増加傾向にあるが、引き続き資材値上げの話があり、資材、経費の高騰で利益確保については、今後も厳しい状況が続くと見込まれる。

■全国の景気動向

公共工事を中心として需要が堅調である地域もあるが、民間工事受注は建築コストの上昇により停滞傾向の地域もあり業況が二極化している。インフラや防災・災害復旧工事関連が堅調であり、省力化投資や設備更新需要も増加傾向にある。残業時間の制御で技術者不足となり受注が出来ない職種もあり、職人の人手不足は継続課題である。

■県下の景気動向

建築業及び付随する設備工事、板金工事業も回復傾向にあり、業況DIは改善傾向にある。材料価格は少し落ち着いているものの、生コンなど上昇傾向にある。

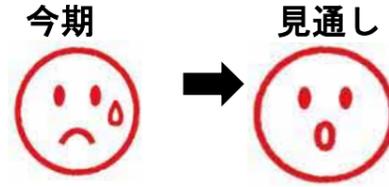
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	1	2	1	0	8	32.0%
不変	0	7	0	2	1	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	3	0	0	1	1	6	24.0%
合計	3	12	1	4	3	2	25	100.0%

製造業

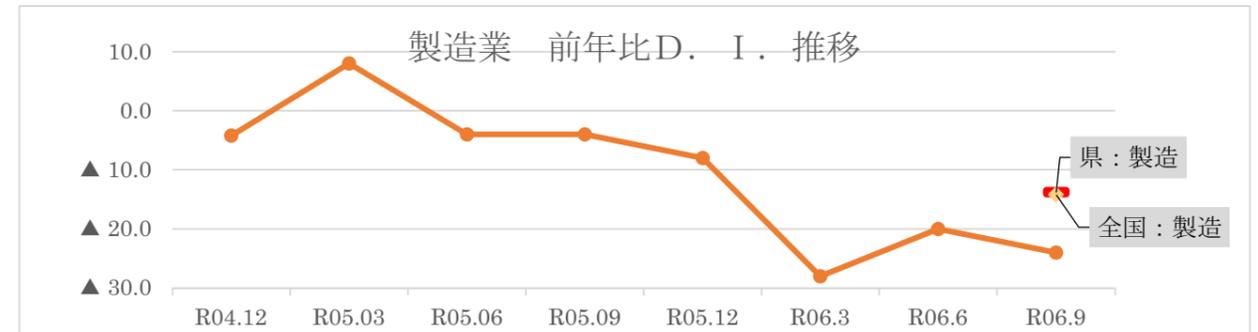
回答率：100% (25/25)

2024年7月～9月期調査



■丹波市の景況推移

県・全国平均より改善幅は小さいが受注は増加傾向にある。単価アップが人件費をはじめとする経費の上昇に追いついておらず、資金繰りが厳しいため新規設備投資が難しい状況にある。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

前期は久しぶりにDI値が好転し、今期も生産拠点の国内回帰や新紙幣切替等の好材料が揃い受注は増加している一方、人件費・光熱費・資材高騰の影響が大きく採算性は悪化している。他業種と比較して人件費を課題に挙げる企業が多く、人手不足を訴える企業も多いが、適正ないしやや過剰と回答する企業が増えている。

【丹波市の来期の景況予想】

年末需要に向けて出荷体制を整える企業もあり、悪化傾向が鈍化し不変回答が多くなっている。受注量は増えており資金も回転しているが、経費の上昇分をまだ価格転嫁できない状態がしばらく続く見通しである。

■全国の景気動向

自動車関連や観光業の復調により売上DIは上昇したが、業況・資金繰りDIは減少している。猛暑や米不足等の外乱に影響される業態がある他、財務状態の悪化で設備投資を控える傾向がある一方、新設備を導入した企業が受注を獲得しており、資金力の差が拡大する傾向にある。

■県下の景気動向

依然としてマイナスDIながら、前回調査から全ての指標が改善しており、次期予想も引き続きV字回復を見込んでいる。しかしながら販売価格は上昇鈍化により資金繰り状況は悪化しており、過渡期にあるものと思われる。

■地区ごとの回答（前年同期比）

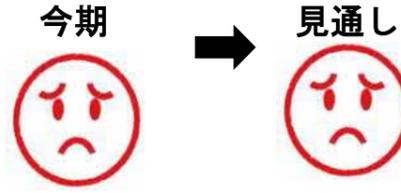
	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	2	1	2	1	0	6	24.0%
不変	1	1	2	0	0	3	7	28.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	6	2	1	2	0	12	48.0%
合計	2	9	5	3	3	3	25	100.0%

小売、卸売業

回答率：100% (25/25)



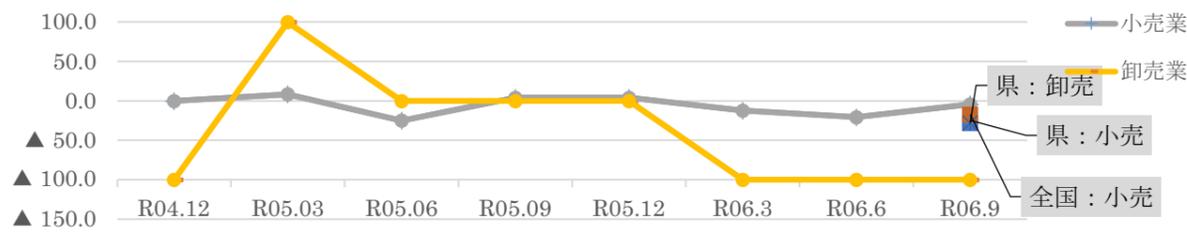
良い やや良い 普通 少し悪い やや悪い 悪い



■丹波市の景況推移

食品小売業では、物価高騰の影響が消費者の買い控えが感じられる。酒類小売業では、夏祭り、秋祭り等のイベントが戻って来たことや精肉小売業でもインバウンドの影響もあり売り上げは順調にのびている。

小売業、卸売業 前年比D. I. 推移



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

食品小売業では、高価なものが売れにくくなっており、タイムセールを集客が増える一方で、通常時間帯の集客が減少している。客単価も低下しており、物価高騰の影響が、消費者の買い控えが感じられる。酒類小売業では、夏祭り、秋祭り等のイベントが戻って来たことや精肉小売業でもインバウンドの影響もあり売り上げは順調にのびている。

【丹波市の来期の景況予想】

秋の味覚、観光シーズンに合わせ人の動きが活発化することで、全体に回復することが予想される。しかし経費や材料、資材等の高騰により利益が圧迫されることが予想される。

■全国の景況動向

食料品関連は、売上額は増加したが、採算は低下した。観光やイベントの回復基調の影響を受けつつも、引き続き価格転嫁に苦慮している状況である。衣料品関連は、横ばい傾向が最も強かった。夏の長い猛暑が複数年続いていることから、仕入商品の見直しが重要となっている。耐久消費財関連は、今後節約志向の影響を受けることが懸念される。

■県下の景況動向

衣料品小売業では残暑が厳しく秋物の売れ行きが悪い。食料品小売業は、町内外の大手量販店に集中しており、地域事業者への来店は減少傾向にある。

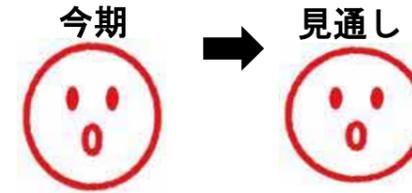
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	3	0	0	1	1	6	24.0%
不変	2	6	0	1	1	1	11	44.0%
悪い (悪化+やや悪化)	3	0	0	4	1	0	8	32.0%
合計	6	9	0	5	3	2	25	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

回答率：100% (25/25)

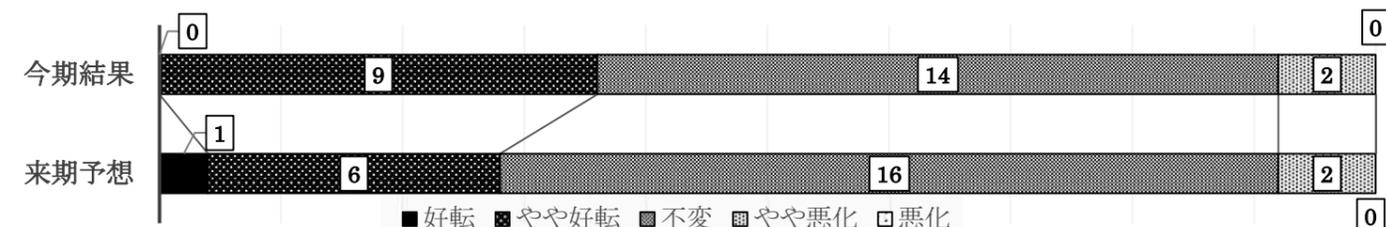
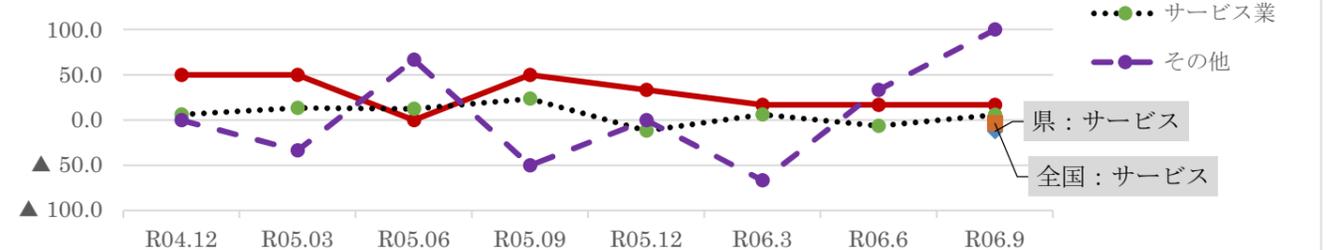
2024年7月～9月期調査



■丹波市の景況推移

飲食業ではまだコロナ前の状態に戻っていないお店が大半。ホテル宿泊は緩やかな回復傾向。ただ、どの業界も物価高騰、最低賃金引上げ等の影響で利益率は減少傾向にある。

飲食・宿泊、サービス業、その他 前年比D. I. 推移



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

飲食店では、コロナ禍以後、お客さんが戻ってきたという店舗もあれば、全くそうでない店舗もあり、結局のところ、コロナ禍前の状態には未だ戻っていない。ホテル・宿泊業では、少しずつではあるが宿泊客が増えてきている。農業では肥料等の材料高騰や酷暑の影響、競合の増加で、利益の確保に苦慮している事業者が多い。

【丹波市の来期の景況予想】

材料高騰、最低賃金引上げ、人手不足等、中小企業を取り巻く環境は、依然として厳しく、景気が急激に良くなることは考えにくい状況。このような厳しい状況下でも、地元需要の掘り起こしや効率化の推進、新たなサービスの導入などに取り組んでいく事業者が今後益々増えていくと考えられる。

■全国の景況動向

全国的に、都市部や観光地では、飲食・宿泊・サービス業は観光需要の回復により業績が改善傾向にあるが、それ以外の地方ではそこまでの改善はない。また全国的に、物価上昇や人手不足が依然として課題であり、特に宿泊業では利益率の低さが問題視されている傾向にある。

■県下の景況動向

神戸や姫路、城崎温泉などの観光地では訪日客や観光需要の回復で飲食・宿泊・サービス業の業績が改善傾向にあるが、その他の地方部では大きな改善が見られない状況。さらに、広い県内で地域差が大きく、物価上昇や人手不足の課題が一層深刻化しており、特に宿泊業では、利益率の低さに加えて人材確保の難しさも問題視されている。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	1	4	1	1	1	0	8	32.0%
不変	3	3	2	3	1	1	13	52.0%
悪い (悪化+やや悪化)	1	1	1	0	1	0	4	16.0%
合計	5	8	4	4	3	1	25	100.0%